

LMO

Autumn

秋号の主な内容

人物紹介①	2
トピックス① 横須賀基地SRF技能訓練生募集説明会	3
トピックス② LMO沖縄支部嘉手納ハーリー初参戦	4
トピックス③ 退職準備研修を開催（岩国地区）	4
トピックス④ 佐世保基地SRF技能訓練生募集説明会	5
各地の職場から	6
わが支部の顔	7
ティータイム	7
人物紹介②	8
めでいかるうんじ	9
Information	10~12

LABOR MANAGEMENT ORGANIZATION

vol 66 2018.10



独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】

人物紹介



Mrs. Kendra O. Finklea

Chief, Civilian Personnel Flight
Civilian Personnel Officer
Misawa Air Base, Japan

Minasama Konnichiwa!

It is a great pleasure and a rewarding experience to serve as the Chief of the Civilian Personnel Flight for the 35th Fighter Wing on Misawa Air Base.

I have over 20 years of experience in the Human Resources community. I relocated to Misawa in March from Yokosuka Naval Base, where I served in multiple Labor Management and Employee Relations roles so I am no stranger to collaborative leadership/followership.

I am very happy to have joined the Misawa Air Force team. The strength and vitality that we enjoy on Misawa Air Base today is due in no small part to the many important contributions made by each of its members. The Misawa Air Force Base, the Labor Management Organization and the Misawa Defense Office benefits greatly from the dedication and professionalism that the civilian workforce brings to the accomplishment of the overall mission.

As a member of this great team, I take special interest in the well-being of the civilian population served by the Misawa Civilian Personnel Flight. I am encouraged by the many opportunities and resources available here in Misawa; which will fuel my personal growth and professional development.

I am looking forward to providing my contribution to the great work accomplished here in Misawa Japan. I will be kind and respectful as I work with and alongside the USFJ leadership and the Government of Japan entities to ensure that the mission is accomplished in the most efficient manner.

In closing, I would like to express my appreciation for the support and kindness I have received from my new team; my new command; USFJ; Yokota Civilian Personnel Flight; the Labor Management Organization Headquarters; Misawa Labor Management Organization; and the Misawa Defense Office. My family and I are looking forward to learning Japanese and immersing ourselves in the Japanese Culture.

Yoi shigoto wo tsuzukete kudasai. Domo Arigato Gozaimashita.



ケンドラ O. フィンクリー

在日米空軍三沢基地
民間人事部長

皆さま、こんにちは!

三沢米空軍基地第35戦闘団に所属する民間人事部の人事部長として勤務することは、私にとって、大変光栄であるとともに、感謝すべき価値ある経験であると思っています。

私はこれまで、およそ20年にわたり、人事に関する仕事に携わってきました。今年3月に横須賀海軍基地から三沢に赴任しましたが、横須賀海軍基地では、労務管理や従業員関係全般にわたり、総合的に人事に関わってまいりました。協調的リーダーシップや補佐的役割を担うことには精通していると考えています。

私は三沢空軍のチームの仲間に加わることができたことを大変幸運に思っています。今日、私たちが三沢空軍基地で楽しく過ごせるこの力強くまた活力に満ちた環境は、少なからず、一人ひとりの多くの貴重な貢献による賜物です。三沢空軍基地、エルモ、そして三沢防衛事務所は、民間人労働力が全体のミッション達成にもたらす彼らの貢献とプロフェッショナルリズムにより、多くの恩恵を受けています。

この最高のチームの一員として、私は、三沢民間人事部によって、サービスを受ける民間人の福利厚生、つまり、健康で安心して満足して仕事に打ち込む状況に特に関心を持っています。私は、三沢にある多くの機会と人々により勇気づけられ、元気づけられています。そのことは、私自身の人間的成長、そして、職業的向上を促すものであると思います。

三沢で成し遂げられてきた素晴らしい仕事に対し、私が寄与できることを楽しみにしています。ミッションが確実に達成されるためにも、思いやりと尊重の念をもって、私は在日米軍の上層部や日本政府の皆様と仕事するつもりです。

最後に、私の新しいチーム、上司、在日米軍、横田民間人事部、エルモ本部、エルモ三沢支部、そして、三沢防衛事務所から受けたサポートと親切な対応に対し、感謝の意を表したいと思います。私の家族と私は日本語を学び、日本の文化に浸ることを心より楽しみにしています。

良い仕事を続けてください。どうも有難うございました。

トピックス①

米海軍横須賀基地 艦船修理廠及び日本地区造修統括本部 第38期技能訓練生の選考始まる

昭和60年から続く艦船修理廠及び日本地区造修統括本部（SRF-JRMC）技能訓練生の募集が今年も行われました。

この技能訓練制度はSRF-JRMCの任務である米海軍の艦船や船舶の修理、保守、改造補修作業、ドック作業、洋上修理、緊急修理等の支援を遂行するため、長期的な視野に立った人材確保を支援するため設立されたものです。

在日米軍従業員になるためには、通常、その職務に必要な経験を有していることが条件となっているものが多いですが、技能訓練制度は4年間かけて一人前の技能者として育成する制度ですので、経験がなくても応募が可能です。訓練生として採用されると、配属先の工場や艦船上で上司やインストラクターの指導の下、OJT（職場内実務訓練）や座学研修を受け、さらに職種毎に必要な資格・免許を取得するためのOFF-JT（外部訓練）や英語訓練を受けることとなります。既に775名が卒業しており中堅の技能者や監督者として様々な部署で活躍しています。

平成31年4月採用の技能訓練生の募集は8月20日までの2か月間にわたり行われ、その間エルモホームページへの掲載、ハローワークの求人やFMブルー湘南ラジオ放送により募集広報を行うとともに、7月16日に九州地区会場（福岡朝日ビル）、8月11日に横須賀会場（ヴェルクよこすか）でHROやSRF-JRMC職員とともに説明会を実施しました。説明会では技能訓練制度についての全体説明や個別相談を実施し、当支部職員は雇用条件等に関する説明を行いました。会場にセットされた職種毎のブースでは参加者が現場職員、現役の訓練生や卒業生からの説明に耳を傾けており、九州地区及び横須賀地区で合わせて100人余りの方が参加するなど例年に比べ関心の高さを感じました。説明会のアンケートでは、約2割の参加者がエルモホームページを見て説明会へ参加したと回答がありました。

また、8月4日に横須賀基地フレンドシップデーが開催された際に設置されたブースで、SRF-JRMC職員とともに通常の在日米軍従業員の募集と合わせて技能訓練生募集のフライヤーを挟んだエルモ作成のクリアファイルを配布しましたが、早々に予定枚数の配布を終了し、多数の入場者から募集内容の説明を求められるなど、今回の募集活動の効果が期待されます。



福岡会場



横須賀会場



フレンドシップデー

トピックス②

LMO 沖縄支部嘉手納ハーリー初参戦



7月8日、嘉手納漁港において嘉手納町が主催する嘉手納ハーリー大会にLMO 沖縄支部が初参加しました。ハーリーとは、航海の安全や豊漁を祈願し、サバニと呼ばれる伝統漁船で競漕を行います。嘉手納ハーリー大会は、今年で31回目を迎える嘉手納町の伝統行事で、毎年県内の多くの人々が訪れ、賑わいます。

今年は嘉手納町内外から全82チームの参加があり、当支部の結果は惜しくも(?)予選敗退となりましたが、大会会場では在日米軍従業員募集の広報活動のためのブースを設ける等してLMOの認知度向上に寄与しました。

来年も大会に参加し、在日米軍従業員募集の広報活動を行いながら今年以上の成績を目指します。

トピックス③

退職準備研修を開催—岩国地区



去る8月22日、岩国地区の在日米軍従業員で50歳以上の希望者に対する退職準備研修が、岩国航空基地内のMCCSファミリーサポートセンターにて開催されました。

この研修は、在日米軍従業員が退職後の生活へ円滑な移行を図れるようにすることを目的として、退職後の生活に必要な知識を修得できるようにするために平成14年度から毎年実施しているものです。

今年度は外国籍の方2名を含む39名の従業員が受講しました。

当日は、支部職員から「退職手当制度等」、「定年後の雇用制度等」について説明を行い、その後、公益財団法人生命保険文化センター、山口県金融広報委員会及び岩国防衛事務所が委託している保健師のご協力をいただき、「経済プラン等」、「心の健康と身体の健康」及び「今後の生活設計」について、講師の方々から熱のこもったお話をいただきました。

休憩時には、退職手当や再雇用制度について質問を受けるなど、現実的な問題に対する関心の高さを感じました。また、外部講師の講義では、講師の受講者を飽きさせない話術に感嘆するとともに、ユーモアを交えた説明に時折笑いも起きるなど、講義内容が近い将来自身に訪れる身近なものであるため、この講義から多くの知識を得て、退職後の生活設計、健康管理等に役立てようと熱心に耳を傾けている様子が印象的でした。

研修後に行われたアンケートでは、『自分の知らないことばかりで大変勉強になった』、『将来設計を立てる参考

になった』、『研修を受講してとても良かった』、との評価を得て今回の研修も有意義であったと、関係者一同、胸をなでおろしているところです。一方、支部が担当した講義については『話が聞き取りにくかった』、『内容がわかりにくい』との意見もあり、支部講師のレベルアップの必要性も感じたところです。今回のアンケートの反省点を踏まえ、次年度以降も、受講者から高い評価を得られるよう努力したいと考えております。

最後になりましたが、業務多忙の折、講義していただいた各機関の講師の方々に対し、この場を借りて深くお礼を申し上げます。



トピックス④

米海軍艦船修理廠及び日本地区造修統括本部佐世保分所 第2期技能訓練生募集説明会開催—佐世保支部

8月12日(日)、佐世保市のアルカス SASEBO において「米海軍艦船修理廠及び日本地区造修統括本部佐世保(以下「SRF 佐世保分所」)の第2期技能訓練生募集説明会が開催され、佐世保支部管理課からも職員が参加しました。

今回の募集は、溶接工、一般船舶機械工、パイプ取り付け工の訓練生を平成31年4月から採用するための説明会であり、平成28年度に続き2回目の開催となります。

SRF 佐世保分所の技能訓練制度は、採用後に実務訓練、座学、及び基地で勤務する際にみなさんが不安とする英語研修を集中的に学び、未経験者を3年間の訓練で一人前の艦船修理の熟練工に育てることを目的としています。訓練生のため、応募資格も語学(英語)を必要とせず、高等学校卒業以上であれば可能ということもあり、お盆休みにも関わらず、約60名の方が説明会に参加されました。説明会開催にあたり、佐世保支部は優秀で意欲を持った方々に幅広く参加していただけるように、エルモホームページで告知し、市内でも多くの人が集まる場所(佐世保バスセンター等)に説明会の広告を設置するなど積極的な周知活動を行いました。

説明会においては、SRF 佐世保分所のスタッフが技能訓練制度の全体説明、各職種の説明を行い、佐世保支部は、雇用や待遇、応募手続き等の説明を行いました。

その後、各セクションのブースにて個別対応をするなか、佐世保支部のブースにおいては、応募方法・詳しい待遇等に多くの参加者から質問を受け、佐世保支部職員が丁寧に説明を行いました。また、参加者のなかには、一般企業で現在

同業種の仕事に就かれている方もいたため、現在募集している募集困難職種も併せてPRする良い機会となりました。

平成31年4月に入廠が予定されている第2期技能訓練生の採用予定者数は4名と狭き門ですが、参加者は各ブースへ積極的に足を運んで不明な点を熱心に聞く方が多く、米軍基地従業員への関心の高さを強く感じ、佐世保支部としましても、今後も機会があれば積極的な募集活動に取り組んで参ります。



全体説明の様子



ブースでの個別相談



バスセンター内広告

各地の職場から

今回は山口県の岩国基地に勤務し活躍されている方々を紹介します。



プロフィール

お名前：^{いけだ}池田 ^{けんりゆう}康行
 職場名：岩国基地顧問弁護士事務所
 職種：法律補佐職
 趣味：映画鑑賞・旅行・読書

プロフィール

お名前：^{すえもと}末本 ^{まき} 草
 職場名：憲兵隊 緊急連絡センター
 職種：緊急派遣職
 趣味：映画鑑賞・旅行・茶道

コメント

岩国基地顧問弁護士事務所は沖縄に本部がある太平洋地区弁護士事務所下部機関となっています。事務所は、元海兵隊員で現在は民間人の顧問弁護士である上司と私の二人だけの小さな職場です。法律を扱う部署としては、主に法務部がありますが、基地内の労務問題、環境問題、職業倫理等が当事務所のカバーする領域です。

私個人の業務としては基地顧問弁護士のサポートになります。本業であるパラリーガルの仕事のほかに、日本政府の抱える基地関連の訴訟を米軍の側からサポートするといった基地ならではの仕事もあります。また、何と云っても二人だけですので事務所の運営にまつわる雑務も含めると、業務は多岐にわたります。

当事務所は一年半ほど前に新しくできた事務所ですので何もかも手探りで始めましたが、法務部や人事部、司令部や沖縄本部の方々の支えのおかげで、何とかここまでやってこれたと実感しています。そうした中で、他の部署の日本人従業員の方々の仕事ぶりを目にするとき、いつも皆さんの仕事に対する真摯な態度に感銘を受けております。このような方たちの支えで在日米軍というものは成り立っているのだなと常々感じています。また自分も少しでもそうありたいと日々考えております。

岩国基地は厚木の艦載機移転以降、さらに大きな基地へと変わってきています。それにつれて日本人従業員の数も増えてきているように思います。素晴らしい先輩、仲間に出会えた岩国基地での仕事に恵まれたことに感謝し、またこれからさらに多くの方たちと切磋琢磨して働いていけることを楽しみにしております。

コメント

私の小さいころの将来の夢は「英語を使って仕事をすること」「人の役に立つ」ことでした。

現在、私は岩国米軍基地憲兵隊の緊急連絡センターという部署に勤めています。主な職務内容は、緊急電話対応、火災報知器システムのモニター、広報システムの管理、などがあります。中でも一番重要な任務は、基地内外からの緊急電話を受け、憲兵隊・消防隊・救急車など適切な関係部署へ連絡、そして現場に派遣することです。基地内からの電話（軍電でダイヤル911）はアメリカ人から英語でかかってくるのがほとんどですが、日本人ティスパッチャーが24時間常駐しておりますので日本人従業員の方に対して迅速な対応ができる体制をとっております。基地外での緊急対応には他の米軍基地や日本の警察・消防署・海上保安庁・自衛隊などとも協力しスムーズに問題解決ができるように務めています。私が思い描いた「将来の夢」を叶えさせてくれる職場で今後も基地の人命救助がスムーズにできるよう尽力していきたいと思っています。



氏名

たかほし ゆうすけ
高橋 祐輔

所属

管理係（併）給与厚生係

担当業務

支部業務全般

私は平成 30 年 4 月 1 日に機構本部から京丹後支部に配属され、山々と田園に囲まれた緑豊かな京丹後の自然を満喫しながら業務に励んでいます。

当支部は、職員数 3 名と小所帯ながら和気藹々とした活気のある職場で、私は経ヶ岬通信所で勤務する従業員皆様の労務管理や支部の総務経理業務など、支部業務全般を担当しております。

京丹後支部では久しぶりの支部勤務ということもあり、私が過去に経験したことのない業務や経験したことのある業務でも制度が変わっているものなど覚えることばかりで規則やマニュアルなどを読み、勉強する毎日です。ただ、いずれの業務にしても件数や案件が少ないため、過去に例のない案件などが起こり得ます。その際は本部や各支部に問い合わせさせていただくことも多々あると思いますのでご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

また、経ヶ岬通信所従業員の皆様におかれましては、行き届かない点多々あるかと存じますが、各種手当やその他色々な案件でご不明な点などありましたら、微力ではありますがお力添えが出来ればと思っております。

お問い合わせいただくことでこちらとしましても勉強出来ることが多々あり、ありがたく思いますのでお気軽にお問い合わせいただくと幸いです。

最後になりますが経ヶ岬通信所へ行く道は正に日本海を見晴らす断崖絶壁と呼ぶに相応しい道中ですが、とても景色が良く、素晴らしいところです。ただ、夏場は虫が多く、冬場はまだ経験しておりませんが日本海側ということもあり、豪雪地域とのことですので春か秋に来られることをお勧めします。機会がありましたら、とても素晴らしい景色が広がっておりますので是非、一度、足を運んでみてください。お待ちしております。



横田支部所在の昭島市にある モリパーク アウトドアヴィレッジを御紹介します。

モリパーク アウトドアヴィレッジは、平成 27 年 3 月に「JR 青梅線」の「昭島駅」北口に開業されたアウトドアの魅力を経験、体感できる屋外型複合商業施設です。

約 21,000㎡の敷地内には、アウトドアブランドの直営店のほかクライミングジム、ヨガスタジオ、また、屋外にはイベント広場や約 200m のミニトレッキングコース、ミニキャンプ場、カヌー試乗ができる池などが設置され、ショッピングのほか、様々な楽しみ方ができます。

2020 年東京オリンピックの正式種目となったスポーツクライミング専用ウォールもあり、「ボルダリング」、「リード」、「スピード」の五輪 3 種目すべてが体験できます。

特筆すべき、高さ 16.5m の巨大な可動式クライミングウォールは国際競技基準に則（のっと）った仕様で、世界のトップクラスの選手による国際大会も催されています。

また、毎月、ちびっ子ボルダリング体験コースや、ノルディックウォーキングを楽しむイベントなどが開催されており、休日には家族連れで賑わっています。

エリア内は、四季折々に草花や紅葉などが観賞でき、支部職員の昼休みの散歩コースになっています。

スポーツの秋に向けて、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

(写真提供 昭和飛行機工業株式会社)



クライミング大会



場内風景



ボルダリング

人物紹介



Ms. Nichole Rose McAbee

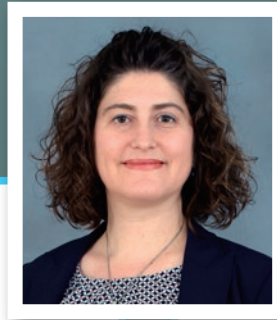
Director, Civilian Personnel
Management Division, USARJ G1

Thank you for the honor of being introduced in the LMO Newsletter. It is an interesting privilege to serve in Japan and special honor to be permitted to work with our Host Nation on developing effective and efficient labor policy and programs.

I have worked in the Human Resources field for over 20 years, 5 and a half years of Active duty Army and 16 years focused on Civilian Human Resources. I have enjoyed overseas tours to Germany and credit those experiences for my interest in serving overseas. I must thank my children, however, for their love of Japanese culture and cuisine. Their passion opened my eyes to the unique opportunity to serve here in Japan. Since our arrival, we have made the most of our weekends and Holidays by touring Japan, embracing the culture and sampling fantastic foods at every opportunity.

I am grateful for experts on the G1 team who continue to ensure that I am provided the best information, resources and tools necessary to represent the interest of both the Army and our Local National employees at every engagement, forum, or interaction. Their consummate professionalism and dedication to duty is inspiring and has made my assignment in Japan so enjoyable. Every day the team is working hard to ensure the success of our Host Nation Employees, our trusted partners.

As I approach the one year anniversary of my arrival in Japan, I am truly grateful for the friendships I have developed so far and I look forward to learning more about my host nation and the people of Japan.



ニコール・ローズ・マカビー

在日米陸軍キャンプ座間、民間人人事部長

エルモの広報誌にて自己紹介をする機会を与えて頂き感謝申し上げます。日本での勤務はとても興味深く、日本の有益かつ有効な労働政策やプログラムの推進に携われることを光栄に思います。

私は、人事の仕事に就いて20年余りになります。最初の5年半は陸軍軍人として、その後の16年は米国連邦政府において人事に携わってまいりました。ドイツでの赴任経験が、海外で働くという私の興味に大きく寄与しております。日本文化や日本食を愛する私の子供たちのおかげで、日本で働くというこのユニークな機会に目を向けさせられました。私たち家族は、来日してから週末や休暇に日本の様々な場所を訪れ、日本の文化や食を楽しんでおります。

様々な会議ややりとりの場において、陸軍と在日米軍従業員を代表するために必要な知識や情報を与えてくれる私のG1チームの皆にはとても感謝しております。彼らの卓越した専門的な知識、そして献身的な取組に感心させられ、私の日本での勤務をより良いものとしてくれます。

私たちの信頼するパートナーである在日米軍従業員のために、私のチームは日々、尽力しております。

着任してから一年を迎えるに当たり、これまでに築いた友情に感謝をし、今後とも日本と日本の皆さまとより深く触れ合っていけることを楽しみにしております。

めでいかるらうんじ

メタボリック症候群について



産業医
やました かつひろ
山下 勝弘 先生
医学博士 (東京医科歯科大学)
日本内科学会認定専門医
日本循環器学会認定専門医
日本医師会認定産業医

メタボリック症候群は1999年にWHO世界保健機関が提唱した呼び名ですが、古くから肥満と病気の関連について研究がされていました。肥満は、高血圧症・糖尿病・脂質異常症を引き起こして、心筋梗塞や脳卒中の原因となっていたのです。しかし、肥満の世界標準はBMI 30以上で、日本人でこれを満たす人は2～3%に過ぎません。日本人ではBMI 25以上で既に健康障害が生じていて、西欧人ほどの肥満ではないにもかかわらず、心筋梗塞などの病気になりやすいことが分かっていました。この小太りで心筋梗塞を発症した人たちを研究する中で、肥満そのものよりも脂肪組織の分布状態・内臓肥満（内臓脂肪蓄積）が注目されてきた経緯があります。

BMI(Body Mass Index): 体重と身長の関係から肥満度を表す体格指数

BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) の2乗

(例) 身長160cm、体重50kgの場合 BMI = 50 ÷ 1.6 ÷ 1.6 = 19.53

BMI 22の体重が統計的に最も病気にかかりにくい標準体重（日本肥満学会）

日本人の肥満者（BMI ≥ 25）の割合は男性31.3%、女性20.6% 一方、やせの者（BMI < 18.5）の割合は男性4.4%、女性で11.6%（平成28年国民健康・栄養調査）

日本のメタボリック症候群の診断基準（2005年）は、必須項目の腹囲（男性85cm、女性90cm以上）に加えて、血圧高値・血糖高値・脂質異常（高中性脂肪血症・低HDLコレステロール血症）の3つのうち2つ以上を満たすことです（表1）。40～74歳の日本人では、男性の2人に1人、女性の5人に1人がメタボリック症候群が強く疑われる者又は予備群です（厚生労働省）。

腹囲の診断基準は、臍高レベルでの腹部CT画像で内臓脂肪面積が100cm²を超えると健康障害の合併が50%多いという研究結果に基づいて、男性85cm・女性90cmと決められました（図1）。しかし、メタボリック症候群の診断基準は国際的には統一されておらず、特に腹囲径についてはアジア人では重視されていますが、WHOははじめ世界的には腹囲を必須項目にしていません。

内臓脂肪細胞は皮下脂肪細胞と異なり、単なるエネルギーの貯蔵庫ではなく、種々の生理活性物質（アディポサイトカイン）を分泌しています。内臓脂肪型肥満では、これら生理活性物質の分泌異常がおこり、心血管に直接悪影響を及ぼすことが分かってきました。従って、メタボリック症候群では血圧・血糖・脂質の異常が軽度であっても、心血管疾患発症の相対危険度が高まります（表2）。これが皮下脂肪型肥満との大きな違いです。

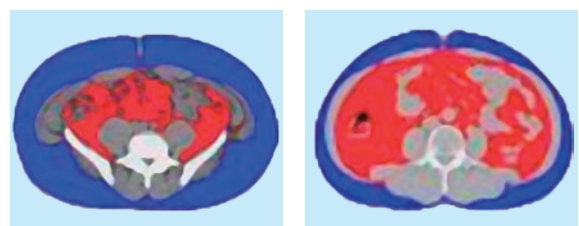
メタボリック症候群の対策は、まずは月1～2kgのペースで減量することから始めましょう。体重の3～5%の僅かな減量でもデータの改善が見込めます。内臓脂肪は皮下脂肪に比べて、溜まりやすいが取れやすいのが特徴で、減量により内臓脂肪から落ちていく傾向があるからです。しかし、短期間の激しい減量はリバウンドのリスクがありますので注意が必要です。

（表1）メタボリック症候群の診断基準

内臓脂肪蓄積	
腹囲径	男性 ≥ 85cm 女性 ≥ 90cm (男女とも内臓脂肪面積 ≥ 100cm ² 相当)
上記に加えて以下の2項目以上	
中性脂肪値 ≥ 150 mg/dL かつ / または HDLコレステロール値 < 40 mg/dL	
収縮期血圧 ≥ 130mmHg かつ / または 拡張期血圧 ≥ 85mmHg	
空腹時血糖値 ≥ 110mg/dL	

※ 腹囲径は立位・軽い呼吸時・臍高レベルで測定する

（図1）腹部CT画像



皮下脂肪型肥満（青色）

内臓脂肪型肥満（赤色）

※ 内臓脂肪は腸間膜（小腸や大腸を支えている膜）にたまる脂肪

（表2）心血管疾患発症の相対危険度

久山町研究（九州）	2,452名を約14年間追跡 メタボリック症候群では男性で1.86 女性で1.70 (冠動脈疾患に対しては男性で1.94 女性で2.86)
吹田研究（大阪）	5,332名を11年間追跡 メタボリック症候群では男性で1.34 女性で2.20 (60歳未満の男性に限ると2.92のリスク)
端野・壮警町研究（北海道）	1,819名を18年間追跡 メタボリック症候群では男性で1.90 女性で2.31 (女性の腹囲 ≥ 80cm)

横須賀基地に健康管理室を設置しました

～さあ、今日から始めよう、あなたの健康増進～

定期健康診断の有所見率の現状

近年、生活習慣病にかかり、今後の人生を治療に専念しなければならない人が増加しています。

このような傾向は、基地従業員の方々も例外ではありません。

エルモ横須賀支部管轄の施設に勤める基地従業員においては、定期健康診断の有所見率は約7割、そのうち約2割は「要精密検査」又は「要治療」の判定を受けています。

健康管理室の設置

9月4日、横須賀基地診療所内に健康管理室を設置しました。

健康管理室は、皆様の健康増進を図るため、産業医及び保健師等の産業保健スタッフが連携し、継続的かつ計画的に保健指導等を行う拠点です。

定期健康診断の有所見があった方、成人病予防健康診断や人間ドックの健診結果について相談したい方、御自身の健康が気になる方は、是非ご利用ください。

◆利用時間◆ (米国及び日本の祝日並びに12月29日から1月3日まではお休みです。)

産業医	保健師
毎週火曜日・水曜日・木曜日 10時30分～14時30分	毎週月曜日・火曜日・木曜日 10時00分～15時00分

◆場 所◆

建物番号 B-68 (駐留軍要員健康保険組合横須賀基地診療所内)

◆費 用◆

無 料

◆ご利用に当たって◆

- 相談をご希望する方は、**事前予約**(軍電：243-1743(産業医)・243-1742(保健師))をお願いします。
- 診療、薬の処方等の医療行為は行いません。**
- 勤務時間中に利用する場合は、監督者から**年次休暇又は無給休暇**の許可を得てください。
- 健康管理室のお問合せは、エルモ横須賀支部給与厚生課(046-828-6946)へ



エルモは、各支部等に健康管理室を設置し、健康に関する相談対応を実施しておりますので是非ご利用ください。

- | | | |
|-----------|---------------------|------------------|
| 【三 沢 支 部】 | 青森県三沢市平畑1-1-25 | 電話：0176-51-2313 |
| 【横 田 支 部】 | 横田飛行場内建物番号994 | 電話：070-7463-5079 |
| 【座 間 支 部】 | 神奈川県座間市相武台1-46-1 | 電話：046-204-8533 |
| 【岩 国 支 部】 | 山口県岩国市中津町2-15-35 | 電話：0827-21-1271 |
| 【佐世保支部】 | 長崎県佐世保市平瀬町3-1 | 電話：0956-59-5366 |
| 【沖 縄 支 部】 | 沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良1058-1 | 電話：098-921-5540 |

アスベスト(石綿)に係る健康相談窓口について

エルモでは、平成17年8月5日からアスベスト(石綿)に係る在日米軍従業員の皆様の健康相談窓口を開設しております。アスベスト(石綿)に係る健康相談を希望される方は、下記に掲げる最寄りの窓口に御相談ください

- 対象者 在日米軍従業員及び在日米軍基地に勤務され退職された方々等
- 相談内容 アスベスト(石綿)に関すること
 - (例) ● 御自身の健康不良や健康不安に関すること
 - 労災補償制度、健康管理手帳制度等に関すること
 - 相談機関の紹介に関すること等

御利用方法等については、[エルモホームページ](#)又は[エルモ支部](#)までお問い合わせください。
ホームページアドレス：<https://www.lmo.go.jp>



アスベスト(石綿)に係る健康相談窓口

担当部署	住所	電話番号
労務部厚生課	〒108-0073 東京都港区三田3-13-12 三田MTビル6階	03-5730-2168
三沢支部給与厚生課	〒033-0012 青森県三沢市平畑1-1-25	0176-53-4165
横田支部給与厚生課	〒196-0014 東京都昭島市田中町568-1 昭島昭和第2ビル4階	042-542-7883
横須賀支部給与厚生課	〒238-0011 神奈川県横須賀市米が浜通1-6 村瀬ビル4階	046-828-6946
座間支部給与厚生課	〒252-0011 神奈川県座間市相武台1-46-1	046-251-0702
京丹後支部	〒629-2503 京都府京丹後市大宮町字周枳1975 MICビル1階	0772-68-0920
岩国支部給与厚生課	〒740-0027 山口県岩国市中津町2-15-35	0827-21-1271
呉分室	〒737-0051 広島県呉市中央1-6-9 センタービル呉駅前4階	0823-32-7087
佐世保支部給与厚生課	〒857-0056 長崎県佐世保市平瀬町3-1	0956-23-7191
沖縄支部厚生課	〒904-0202 沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良1058-1	098-921-5534

心の健康相談について

在日米軍従業員とその御家族の皆様の精神的な悩みなどについて、24時間いつでも電話相談に応じています。

プライバシーは完全に守られます。どうぞお気軽に御利用ください。

実施期間

平成31年3月31日まで

相談できる人

従業員の皆様のほか、御家族の方も相談できます。
※家族の範囲は配偶者及び子、同居親族、別居中扶養親族となります。

費用

相談料は、無料です。ただし、面接相談においては、5回まで無料とし、6回目以降の相談は有料となります。また、治療行為と認められる経費や交通費等、相談料以外に要する経費は自己負担となります。

留意事項

勤務時間中に電話、面談又はWEBにて相談をされる際は、事前に監督者の許可を得てください(緊急の場合を除く。)

電話カウンセリング・面接カウンセリング

「相談センター」は24時間電話相談対応!



専用のフリーダイヤルより御連絡ください。
面接の御予約も同じ電話番号からお申し込みいただけます。



※ 面接は、日本の祝日・日曜日、12月29日～1月3日を除く、月曜日～土曜日 1100～1800(面接の終了時間)の対応となります。

WEBカウンセリング

- ①専用のメールアドレスに御相談内容を送信してください。
- ②送信されたアドレスより、回答が3営業日以内に届きます。



年末年始期間は、3営業日以内に回答できない場合があります。

※ 専用のフリーダイヤル、メールアドレスなど、御利用方法の詳細については、エルモホームページで御覧いただけます。

ホームページアドレス：<https://www.lmo.go.jp>

募集案内 在日米軍従業員を募集しています!

エルモホームページでは、在日米軍従業員の求人情報を掲載しております。
興味のある方は、最寄りの支部にお問い合わせいただくか、エルモホームページをご覧ください。



本州・九州の基地



沖縄の基地

インターネットによる応募を受け付けております。

ホームページ(PC及びスマートフォン)アドレス <https://www.lmo.go.jp>

LMO

検索

支部行事予定 (10～12月分)

三 沢

- 10月 退職準備研修
永年勤続者表彰式
成人病予防健康診断 (婦人ガン 10月～12月)
- 11月 年末調整受付
離職等手続説明会 (平成30年度第2回)
- 12月

横 田

- 10月 年末調整受付
成人病予防健康診断 (～2月)
永年勤続者表彰式
- 11月
- 12月 離職手続説明会 (平成30年度第2回)

横 須 賀

- 10月 永年勤続者表彰式
退職準備研修 (平成30年度第2回)
成人病予防健康診断 (婦人ガン 10月～2月)
- 11月 年末調整受付
- 12月 離職手続説明会 (平成30年度第2回)

座 間

- 10月 成人病予防健康診断 (～12月)
年末調整受付
退職準備研修 (平成30年度第2回)、永年勤続者表彰式 (富士、座間)
- 11月
- 12月 離職手続説明会 (平成30年度第2回)

京丹後

- 10月 成人病予防健康診断
- 11月 年末調整受付
- 12月

岩 国

- 10月 年末調整受付
永年勤続者表彰式
- 11月
- 12月 離職手続説明会 (平成30年度第2回)

佐世保

- 10月 永年勤続者表彰式
成人病予防健康診断 (～12月)
年末調整受付 (～11月)
- 11月 退職準備研修 (平成30年度第2回)
- 12月 離職者説明会 (平成30年度第2回)

沖 縄

- 10月 永年勤続者表彰式
制服等 (更新分) 配布
成人病予防健康診断 (～2月)
- 11月 年末調整受付
- 12月 離職等手続説明会 (平成30年度第2回)

編集発行

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】
総務部総務課

東京都港区三田3-13-12 三田MTビル6階
Tel: 03-5730-2163

ホームページアドレス P C : <https://www.lmo.go.jp>
mobile : <https://www.lmo.go.jp/m/>

